



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社サイバーセキュリティクラウド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘
(コード番号: 4493 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 倉田雅史
(TEL. 03-6416-9996)

2024年12月期 第1四半期決算に関するQ&A掲載のお知らせ

当社は、2024年12月期 第1四半期決算に関するQ&Aを掲載いたしましたので、お知らせいたします。

営業利益率が上場来最高を記録した要因はどういったものがあるか？

売上高の増加と費用の減少によるものです。売上高に関しては、昨年3Qからお伝えしていたデジタル庁案件の約70百万円を計上したことに加え、例年1Qは脆弱性診断の売上が好調な中、前年同期比を更に上回る売上高を記録したため、大幅な増収となりました。一方で費用面は、デジタル庁案件を社内リソースで対応したことに伴い費用の追加発生がなかったことや、広告宣伝費が売上の増加に対して前年同期比で減少しました。費用を抑制しながら売上高を大幅に成長させたことにより、結果として上場来最高の営業利益率を記録いたしました。

業績に寄与したデジタル庁の案件はどのようなものか？

本件については2023年12月期3QのQ&Aで開示している内容から変更はございません。以下、「2023年12月期 第3四半期 決算説明会動画およびQ&A掲載のお知らせ」より抜粋。「ガバメントクラウドのセキュリティシステム開発業務② クラウドアラート監視、定量的計測、インシデント対応の自動化等(令和5年度)」という案件です。内容は、ガバメントクラウドのセキュリティアラート監視、定量的計測と分析、インシデント対応の自動化等を行うマネージドサービスを使ったシステム構築を外部委託し、AWS上でプロトタイプを行い、クラウドアラート監視、定量的計測、インシデント対応等の自動化のあるべき姿を実証実験するものです。

WafCharmの価格改定は、どのような内容か？

2023年6月に料金プランをアップデートしたことにより、新規ユーザーに対する提供価格の変更がありました。料金プランのアップデートより前からご利用いただいているユーザーに対しても、2024年8月より順次価格改定を実施予定です。

WafCharm の解約率が上がっていないのにも関わらず、ユーザー数が 2023 年 4Q と比較してあまり増えていないのは何故か？

WafCharm のユーザー数の増加ペースについては、新規獲得が過去の四半期に比べて若干弱かったことに加え、単価の低いプランを廃止していることに伴う影響があります。新規のパイプラインは引き続き堅調なため、中長期で着実に ARR を積み上げられるよう営業活動を強化するだけでなく、新たな機能の追加を含むサービスのアップデートなどを行っていく予定です。

SIDfm のユーザー数が 2023 年 4Q と比較して大きく増加しているにも関わらず、ARR が減少しているのは何故か？

新規のユーザー獲得が堅調に推移していることもあり、ユーザー数が大きく増加し、ARR も積みあがりましたが、一方で単価の高いユーザーが解約したことに伴い、結果として ARR が減少しております。当該顧客の解約理由は、顧客による脆弱性管理の運用方針の変更に伴うものであり、当社に対する不満などではありませんが、引き続き顧客に長くご利用いただけるよう、サービス品質向上に努めてまいります。

CloudFastener の拡販に向けた状況は？

AWS の各種認定取得 (FTR、ISV Accelerate プログラム) や、国内外のカンファレンスに積極的に参加しプロモーションを行うことで、CloudFastener の認知拡大に向けて取り組んでいます。また、AWS ユーザー以外にも CloudFastener を利用いただけるよう、Google Cloud Platform (GCP) や Microsoft Azure などのクラウドサービスへの適用を目指し、マルチクラウド対応に向けた開発をすすめております。2024 年 2Q 以降は受注済みの案件に加え、新たな代理店契約も含めたパイプラインが着実に積みあがっているため、拡販に向けて注力してまいります。

シンガポールに拠点を設立する背景は？

シンガポールは多くのグローバル企業が集まるポテンシャルが高い市場であることに加え、APAC をカバーする上で地理的に重要と考えているためです。APAC のクラウドセキュリティ市場のポテンシャルは高く、2025 年には約 6.6 億ドル (2023 年度比 : +60.8%) ※に達すると見込まれています。また、先日 AWS 社がシンガポール市場に対して 2028 年までに 1 兆 3,700 億円の投資を発表し、データセンターの建設や人材育成など、シンガポール国内だけでなく周辺地域への波及も見込める魅力的な市場であると考えております。

※ Gartner®, Forecast: Information Security and Risk Management, Worldwide, 2021-2027, 4Q23 Update, Shailendra Upadhyay et al., 22 December 2023

以 上